

株式会社エスエス精機（千葉県事業承継・引継ぎ支援センター）

第三者承継

事業引継ぎ概要

引継ぎ対象：金属製品製造
譲渡者：株式会社エスエス精機 従業員数 20名
譲受者：三和電気株式会社 従業員数 97名
譲渡方法：株式譲渡
引継ぎ期間：令和5年1月(初回面談)～令和6年1月(株式譲渡契約書調印) 約12ヶ月
支援方法：登録民間支援機関を活用した二次対応



事業引継ぎまでの経緯

- ・譲渡者の(株)エスエス精機は、昭和28年に東京都江戸川区で大手時計メーカーで技術者をしていた創業者が独立開業し、時計部品製造で培った精密加工を得意としていた。その後千葉県に工場を建設し、大手工作機械メーカーや精密部品メーカー向けに特殊コレットチャックや高精度スピンドルの製造販売を行っていた。
- ・平成17年に先代社長が亡くなり、妻が代表権を引き継いだ。現場はベテランの工場長を中心に運営されていた。後継者候補の長女が専務取締役として従事していたが、承継に悩み、取引金融機関に勧められて当センターへの相談に至った。
- ・代取の島津氏は、事業の継続、従業員の継続雇用及び技術の承継を強く希望していた。
- ・当センターでは慎重に意向確認を行い、専門的な業界であることを踏まえて代取より支援機関へ橋渡しの意向が示されたことから、M&A仲介会社を紹介し、支援を受けることになった。
- ・M&A仲介会社が探索先のマッチングを多数行い、複数の買い手候補とトップ面談を実施。その中の1社である三和電気(株)が関心を示した。同社は世界最小のマイクロコイルをはじめ、照明・医療・産業装置用コアパーツの開発を行っており、シナジーが見込めると経営判断し、株式譲渡契約の締結に至った。
- ・本件は、(株)エスエス精機側の希望通り、雇用の維持、技術、顧客等が引き継がれ、両社にとって有意義なM&Aが成立した。



中央
譲渡者の代表取締役 島津 順子氏

左から2人目
譲受者の代表取締役 宮崎 裕二氏

事業承継・引継ぎ支援センターでの対応内容

- ・譲渡希望者としてDB登録。登録民間支援機関への橋渡し支援
- ・金融機関との連携
- ・株式譲渡契約書のリーガルチェック